

仲間づくり、生きがいづくり始めませんか!



平成20年度 第59回「家の光 文化賞促進賞」受賞

DATA

●開催日:平成21年2月10日(火)

●場所:パシフィコ横浜国立大ホール



選考は全国750JA中、5JAと大変狭き門。JA京都を代表して中井常務(上・写真中央)が表彰を受けました。



J A 京都が第59回家の光文化賞の促進賞に選ばれ2月9日、10日の両日、神奈川県のパシフィコ横浜国立大ホールで開催された第51回全国家の光大会の場で表彰を受けました。

「家の光文化賞促進賞」は、昭和24年に『家の光』創刊25周年記念事業として制定された「家の光文化賞」に次ぐ名誉ある賞で、今回は特に女性部を中心に取り組んでいる家庭菜園や生活教室、サークル等の積極的

かつ多彩な活動が、J A グループ全体の模範になると評価され、晴れて受賞となりました。

また、長期愛読者拡大実績の部でも、「家の光」「地上」「ちゃぐりん」の3誌とも全国3位の成績を収めました。

都道府県代表体験発表大会では、京都府を代表して弥栄支店女性部の富田咲枝さんと、野田川支店の浜岡悦子ライフサポーターがそれぞれ発表しました。

[体験レポート]

大役を終えて

昨年12月のJA京都府家の光大会を経て、今回、拙い私に体験発表の機会を与えていただき、身に余る光栄を感じるとともに関係者の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

全国47都道府県の代表者のパワー溢れる素晴らしい活動体験発表の中から大変多くのことを学ばせていただき、今後の人生に大きなプラスとなるヒントを見つけることができました。これからは、少しずつでも何らかの形で女性部員の皆さんと一緒に丹後は丹後らしく、私は私らしく地道な活動を続けていきたいと思っております。そして、「食」や「農」について関心が高まる今日においては、食卓を通じて家族の健康を守っている私たち女性こそが、「自産自消」をモットーに、活動の輪を広げていかなければと身にしみて感じました。

弥栄支店女性部・富田 咲枝



家の光大会に参加して

家の光普及文化活動の部では、教育文化活動において成果を上げている取り組みや、家の光を組織的・計画的に普及するための様々な工夫などを聞き、家の光事業がJAの事業活動の中で明確に位置付けられていることを再認識しました。

体験発表での、家の光の記事を女性組織や様々なグループの活動に上手く活用し、仲間を作り、地域を活性化させた事例には見習うべきところが多く、また各JAの一生懸命な姿勢には心を打たれました。

今回学んだことを他のライフサポーターと共有し、明日からの教育文化活動や女性部活動に生かして、皆が元気になれるように頑張りたいと思っております。そして、家の光が一層女性部の愛読誌となるようにいろいろな活動の場で活用し、購読につながる努力もしていきたいと思っております。

野田川支店・浜岡 悦子



女性部の活動は、JA京都の組合員家庭の女性なら、どなたでもご参加いただけます。まずは女性部にご加入を。